

# 地球元気村

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう




6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう





# 2021年 SDG s をテーマに 大塔地球元気村バージョンアップ

毎年開催する夏の野外イベント大塔地球元気村は「大塔の素晴らしい自然を体験することで自然を大切にし、地球を元気にする人を育てよう」を目的に「人類の財産としての自然環境を守る活動」を約30年続けてきました。

同時に行政主導から民間主導そして地域住民参加型へと形を変えながら官民、老若男女力を合わせたの活動と運営をつうじて自らの住む地域の「サステナブル(持続可能)なまちづくり」に取り組んでできています。

従来の活動にあわせ、今後は「SDG s (持続可能な開発目標)」の啓発を掲げ、「地球をサステナブルで元気にするイベント」で国内外だけでなく世界に発信していきます。



# SDG s 大塔地球元気村事業①



## キッズプロジェクト 鮎川小学校へのSDG s 出前授業



キッズプロジェクト  
2025 年 11 月 29 日

和歌山県田辺市の鮎川小学校にて10月に行ったSDGs出張授業の取り組みを、ラジオ大阪さんのSDGs番組で取り上げていただきました！

先日収録を終え、2回に分けて放送されます！

ラジオ大阪 AM 1314 / FM 91.9  
番組名：「あれも！これも！SDGs」  
放送日時：11月26日（金）・12月3日（金）24時30分～24時45分

子ども達に、SDGsをわかりやすく楽しく伝えた授業の内容や、子ども達の授業を受けての姿勢の変化などをお話しています。

ぜひ、関西の方はお聴きください！（全国のみなさん、radikoで！）

ラジオ大阪  
<http://www.obc1314.co.jp/>  
大塔地球元気村  
※出張授業はこちらの取り組みの一環として実施  
<https://www.oto-tourism.jp/genkimura.html>  
円谷プロダクション/かいじゅうステップ フンダバダ  
<https://sdgs-kaijustep.com/>  
東京書籍/EduTown SDGs  
<https://sdgs.edutown.jp/>  
キッズプロジェクト  
<https://kids-project.jp/>



産経新聞 2021年11月29日朝刊

キッズプロジェクト  
子どもたちの未来を応援



### 会社概要

社名 株式会社キッズプロジェクト

事業内容 子どもたちの「すごい！」が見つかるコトやモノの企画、ゲーム、PC等のソフトウェアの企画開発、商業デザイン（企業ロゴ、キャラクター、販促ツール、WEB、雑誌広告）の企画制作、書籍・出版/映像・音楽/玩具/広告・宣伝にかかわる企画制作

設立年月日 2020年2月27日

所在地 東京 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-9-2 第一編ビル ORYZA OFFICE 3F-24  
大阪お問合せ 〒541-0044 大阪府中央区区役所2-2-6 西山ビル4F 株式会社エンジーズ キッズプロジェクト担当

役員 小林 一博（代表取締役）  
近立 結  
瀬川 美幸  
山崎 洋光

関連会社 株式会社エンジーズ（2020年2月まで同社内ベンチャー事業として活動）

実績 経産省主催「第6回キャリア教育アワード」優秀賞（企画・設計）  
ベンチャー事業 第21回「Gにむかえ」特別賞 にしらのネジ  
前職社 スポーツウェアズ企画事業 採択企業  
前職社 読者向けデジタルコンテンツ事業 採択企業  
創業経営者誌 地域情報企画事業 「Edtech活用」上巻制作サービス提供 採択企業  
HIROSAKI DESIGN WEEK 選出アーティスト  
雑誌誌「水と土の芸術者」選出アーティスト  
大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会 理事  
経産省認定事業 東大阪モノづくりICTクラブ協議会 協賛



2021

# SDG s 大塔地球元気村事業②

## ◎ JICA国際協力出前講座

### JICA国際協力出前講座とは？

開発途上国の現状を知り、国際協力の必要性を理解する機会を提供するため、学校の授業や講演会などに青年海外協力隊のOB/OG・技術協力専門家・JICA職員などの国際協力の経験者を派遣します。今年度からオンラインでの講演も実施しております。

「こんな話が聞きたい。」、「こんな講師を呼びたい。」、「JICA国際協力出前講座を利用するには？」など、お気軽にお問合せください。

また、JICA関西の施設を使つての実施（JICA関西訪問プログラム）も可能です。

少数グループでの実施も行っております。

まずは、ご相談ください。





# SDG s 大塔地球元気村③

## 高校生によるSDG s レシピ開発とオンライン食堂

### 神島屋とは



神島高校「神島屋」は、平成24年度にスタートしたこの取り組みでは地域に関わることをコンセプトとし、年度ごとに自分たちでテーマを設定し、企画内容を考えながら商品開発やイベント企画、ビジネスプラン作成などに取り組んでいます。

～梅の魅力を伝えたい～

特にこだわっているのが、地域の特産品である「紀州南高梅」の魅力を地域内外に伝えることです。地域の産業について学び、商品開発を通して「紀州南高梅」をPRすることを目標として活動を継続しています。

### 神島高校「梅の魅力を伝えたい」～商品開発から地域づくり・人づくりへ～

紀州南高梅は、梅の魅力を伝えること、地域に関わることをコンセプトとし、年度ごとに自分たちでテーマを設定し、企画内容を考えながら商品開発やイベント企画、ビジネスプラン作成などに取り組んでいます。



「梅のめし」は、梅の魅力を伝えること、地域に関わることをコンセプトとし、年度ごとに自分たちでテーマを設定し、企画内容を考えながら商品開発やイベント企画、ビジネスプラン作成などに取り組んでいます。



「梅のめし」は、梅の魅力を伝えること、地域に関わることをコンセプトとし、年度ごとに自分たちでテーマを設定し、企画内容を考えながら商品開発やイベント企画、ビジネスプラン作成などに取り組んでいます。





# SDG s 大塔地球元気村④

## CATV 番組「SDG s 大塔地球元気村」(30分)

百間溪谷の水中にカメラを潜入させつつ、SDG s や30年続けてきた大塔地球元気村での自然環境保護啓発、「大塔中発ゴミ持ち帰りイベント」の取り組みについて紹介する。10月のSDG s 週間にあわせてCATVにて放送。





2021

# SDG s 大塔地球元気村⑤

## J T × 大塔交通社 × 地球元気村

大塔地球元気村の呼びかけで中辺路町のJT企業の森活動における間伐材を利用した木製SDG s 啓発ピンパッチ100個をJT × 大塔交通社で製作。50個を大塔地球元気村に寄付。2022のボランティアスタッフに配布します。





2021

# SDGs 大塔地球元気村⑥

2022.2月  
和歌山県環境大賞に  
応募。

2022,5月  
和歌山環境賞を  
受賞しました。

## 第21回 わかやま環境賞 応募用紙

応募者（表彰の対象となる方）			
（ふりがな）	おおとうきゆうげんきむらじっこういんかい		
氏名 又は団体名	大塔地球元気村実行委員会		
（ふりがな）	かいちょう みやこし たかひろ		
団体代表者 職 氏 名	会長 宮越 貴博		
団体所在地	所在地	〒 646-1192 田辺市鮎川2567-1	
	電話番号	0739-48-0301	FAX番号 0739-49-0359
（ふりがな）	すぎたに よういち		
連絡先 （書面送付先）	担当者 氏 名	杉谷 羊一	
	住所 又は所在地	〒 646-1192 田辺市鮎川2567-1大塔行政局内大塔地球元気村実行委員会	
	電話番号	0739-48-0301	FAX番号 0739-49-0359
メールアドレス	sugitani.y@city.tanabe.lg.jp		

活動に関すること①				
活動区分 （複数選択可） ※該当するものの 左欄に○を記入	<input type="checkbox"/>	① 自然環境の保全及び自然とのふれあいに係る活動	<input type="checkbox"/>	⑦ 環境教育・環境学習に係る活動
	<input type="checkbox"/>	② 野生生物の保護に関する活動	<input type="checkbox"/>	⑧ 環境関係の研究・技術開発活動
	<input type="checkbox"/>	③ 清掃及び緑化など地域環境の美化に関する活動	<input type="checkbox"/>	⑨ 環境にやさしい製品の開発、工夫及びアイデアの創出を行うもの
	<input type="checkbox"/>	④ リサイクル運動などのごみの減量化に関する活動	<input type="checkbox"/>	⑩ 省資源・省エネルギーや新エネルギーなど地球温暖化の防止等に係る活動
	<input type="checkbox"/>	⑤ 大気、水、土壌などの公害対策に関する活動	<input type="checkbox"/>	⑪ 国際協力を通じた地球環境保全に関する活動
	<input type="checkbox"/>	⑥ 環境保全の普及・啓発に関する活動		
活動名称 （50字程度まで）	サステナブルな社会の実現 大塔地球元気村の挑戦			
活動目的	自然に親しみ、地域の環境を考える			
活動期間 （活動の中間期間は含めません。） （令和4.4.1現在）	30年	か月	活動開始時期 1991年 月	
活動頻度	<input type="checkbox"/> ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 週日 <input type="checkbox"/> 月日 <input checked="" type="checkbox"/> 年 10日			
主な活動場所	田辺市（旧大塔村）地域	活動人数 （活動の主役となっている人数）	20人	

活動に関すること②	
活動内容	①自然体験教室の開催 ②「川と自然を考えるフォーラム」の開催 ③イベント開催時のゴミ持ち帰り運動 ④地元小学生有志による「川をきれいに」動画配信 ⑤SDGs出前授業の開催 ⑥企業の森間伐材を使ったSDGsバッチ制作
実効性	①イベント当日のゴミ持ち帰り運動で会場からのゴミ削減を達成。 ②「川と自然を考えるフォーラム」を毎年開催。啓発と川のゴミについても減少。 ③車々のイベントの集客、出演者、ボランティアスタッフが増加している。 ④SDGsをテーマにした環境意識の高い企業や団体が賛同し、参加するようになってきている。 ⑤コロナ禍でも出前授業や間伐材SDGsバッチ制作など次年度に繋がる準備している。
波及性・普及性	①行政事業から住民主体の実行委員会形式になったことで地域全体に波及し、住民参加やボランティアが増加した結果、地域の環境保全意識に繋がっている。 ②「川と自然を考えるフォーラム」に参画した小学生たちが中学生になってみんなで「ゴミゼロイベント」を開催したり、さらに校長1名専科教師ポスターリーダーで女性用AEDシート普及に携わるなど次世代SDGs人材育成に繋がっている。 ③SDGs出前授業など他府県の企業や公益団体に連携したSDGsの取り組みは来年度も増加する見込み。
独自性・先進性	①大塔の自然を生かした環境保全啓発とまちづくりの活動を30年続けてきた。 ②地元大塔中学生発案の「ゴミ持ち帰り」「ゴミゼロイベント」を掲げ、集客は増えながらもイベントゴミを減減させた約1万人規模のイベント。 ③Youtube、SNS 等を通じた地元小学生が「川をきれいに」と訴える動画配信。 ④ゲーム会社や出版社、JICAとのSDGs出前授業 ⑤JT企業の森と地元企業との間伐材SDGsバッチ制作

その他			
過去の表彰歴	わかやま環境賞 応募歴	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
応募のきっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 農家の案内 <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> 広報誌 <input type="checkbox"/> その他（ ）		

推薦者（他薦の場合のみ記入）			
（ふりがな）	たにぢち かずき	（ふりがな）	わかやまげんきかいざいん
氏名 又は団体名	谷口和樹	団体代表者 職 氏 名	和歌山県議会議員
連絡先	住所 又は所在地	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川1597-121	
	（ふりがな）	たにぢちかずき	
	団体担当者 氏 名	谷口和樹	
	電話番号	090-3356-3763	FAX番号
メールアドレス	navigarasu2@docomo.ne.jp		
推薦理由	①30年の継続した自然環境保全啓発活動 ②他団体とのSDGsの取り組み ③次世代SDGs人材育成		
応募者（表彰の対象となる方）の同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意あり <input type="checkbox"/> 同意なし		